

Well Well 第16号

祝7周年

祝7周年

坂井瑠実クリニック

坂井瑠実クリニック阪神タイガース応援ツアー

8月31日(水) 坂井先生を筆頭にスタッフ、透析患者合せ総勢35名で甲子園(対中日戦)に繰り出しました。残念ながら5対7で負けてしまいましたが、熱い夜を満喫してきました。

おかげさまで

坂井瑠実クリニック開院7年！

坂井瑠実クリニック理事長

坂井瑠実

おかげさまで坂井瑠実クリニック開院7年！あつという間の出来事だったようにも、いろいろ大変だったようにも思います。最近は何屋のクリニックの立ち上げで本院御影での透析の皆様にはお目にかかることが少なくなり申し訳ありません。今期は少し落ち着いて体制固めをしたいと思っています。パワーアップした小泉体制では医療、福祉、特に透析には厳しくなることは必至で、来年4月の医療費改定は透析で10%ダウンとも言われています。それでも医療の質を落とさないという消極的なことではなく、さらに医療の質を上げることが目指し、保険点数が下がったのだからこの透析でしかたがないと言われないよう努力するつもりです。しかし透析の回数制限や保険適応に制約が加われば、おのずと透析の質に影響が出てきます。10数年前、イギリスのサッチャー首相は国の財政難を乗り切るために、透析の保険適応を65歳までとしました。すなわち65歳以上の人は自費でしか透析を受けられなかったのです。国が貧乏になると、いつでもお金の切れ目が命の切れ目の時代に逆行してしまいます。そうならないためには、当事者が声を大にして訴える事、患者さんの会が強くなることです。一人でも多くの人が患者会(友愛会、兵庫県腎友会、全腎協)にはいつて組織率を上げてほしいと思います。聞き飽きたといわれそうですが、今の私たちが使っている透析の水、ダイヤライザーなら、透析時間さえ十分確保すれば透析の合併症はかなり回避できると信じています。誰もが週3回4時間で十分というわけには行きません。大きい人、体重の軽い人では、おのずと透析時間に違いが出てきます。週当たりの時間を少しでも多くするよう考えてみてください。元気でいてこそ楽しいことも多いと思います。

トラキチの坂井瑠実は、世の中はタイガースファンだけではないという事をつい忘れて、誰とでも握手、握手で阪神タイガースの優勝に酔いしれ、前回の優勝の感激とはまた違った感激に浸りながらハッピーな気持ちになっています。今度こそ、日本一、間違いない！タイガースのように坂井瑠実クリニックも一致団結して来年を目指したいと思っています。

坂井瑠実クリニック設立から7年間のあゆみ

病院/患者会(友愛会)

1998年(平成10年)

- ・坂井瑠実クリニック開院(10/10)
- ・患者会設立総会を行う(11/22)会の名称「友愛会」に決定
- ・患者会発足(12/1)

1999年(平成11年)

- ・友愛会会報創刊(1月)
- ・入院受付開始(1/11)

2000年(平成12年)

- ・「腎臓のイロハから対策まで」を初刊発行(1月)

2001年(平成13年)

- ・友愛会、通院に関する実態調査を行う(10/1~10/13)
- ・法人格取得(11月)
- ・坂井瑠実クリニック3周年記念パーティ(12/9)
- ・坂井瑠実クリニック機関紙「うるうる」創刊(12/9)

2002年(平成14年)

- ・居宅介護支援事業所みのりスタート(2/1)
- ・第13回日本サイコネフロロジー研究会:坂井瑠実クリニック主催(6/30)
- ・兵庫県透析施設対抗バレーボール大会出場(12/1)

2003年(平成15年)

- ・ハワイ旅行2/16~21
- ・ハイム閉鎖(5月)
- ・透析室ベッド増床(7月)

2004年(平成16年)

- ・第1回近藤宏二杯ボレー大会開催(1月)
- ・友愛会第4回定期総会、勉強会を行う(4/25)
- ・友愛会夏の親睦行事日帰りバスツアーを行う(7/25)
- ・病院スタッフと患者会との座談会を行う(8/22)
- ・阪神タイガース応援ツアー実施(9月)
- ・友愛会第6回クリスマスパーティーを行う(12/5)



2005年(平成17年)

- ・第2回近藤宏二杯ボレー大会開催(2/6)
- ・芦屋坂井瑠実クリニック開院(3月)
- ・坂井瑠実クリニック喜田院長就任(4月)
- ・友愛会第4回定期総会、勉強会を行う(5/15)
- ・友愛会夏の親睦行事日帰りバスツアーを行う(7/24)
- ・阪神タイガース応援ツアー実施(8/31)



NEWS

- ・長年難病医療にかかわって新光毅先生 勲3等瑞宝賞叙される(11/3)

- ・神戸市難病連達支援の会「ジャスミン」発足(1月)
- ・加古川院内感染

- ・介護保険制度が実施される(4月)
- ・兵庫県腎友会がNPO法人取得(12月)

- ・アメリカテロ、N.Y.WTC崩壊(9月)
- ・アメリカテロ報復、アフガニスタン爆撃開始(10月)
- ・狂牛病発生

- ・診療報酬大幅な改正4/1
- ・神戸市難病団体連絡協議会 達支援の会「ジャスミン」 NPO法人取得(6月)

- ・新型ウィルスSARS(サーズ)流行(3月)
- ・イラク戦争勃発
- ・阪神タイガース優勝

- ・鳥インフルエンザ発生(1月)
- ・アテネ五輪開催(8月)
- ・新潟県中越地震、近畿北部台風被害(10月)
- ・スマトラ沖地震(12/26)

- ・愛知万博開催(3月~9月)
- ・兵庫県尼崎JR脱線事故(4/25)
- ・宮城県南部地震(8/16)
- ・阪神タイガース優勝



狙われる！ 透析患者

「金の切れ目が命の切れ目」と言われた時代。あなたは知っていますか？諸先輩方が命をかけて築き上げた現在の医療。当たり前のように思っていないか？

平成14年の医療報酬の改定。その3年後17年7月には、兵庫県の重度身体障害者医療費助成制度の内容変更により、自己負担が導入されました。今後色々な改定が予測されます。そのため、患者自身の団結が今以上に必要になってくるのです。それが、患者会であり、腎友会神戸ブロックであり、兵庫県腎友会です。

私は、関係ないわ！入りたくない！ではなく、自分自身のために、自分達のために今以上に組織率を向上させ戦わなければならない時期がきています。今！今！こそ団結が必要なんです！

「一人はみんなのために、みんなは一人のために」
患者会に入りましょう！！

支委会会長 中村 弘道

秋の紅葉が待ち遠しい今日この頃ですが、患者の皆さんお元気ででしょうか？

私は透析暦6年になります。毎日仕事をしながら元気で透析生活を過ごしていますが、透析導入前の悪夢が昨日の様に思い出されます。10数年前から健康診断で注意信号を受けたが、仕事の忙しさで治療も余りしていませんでした。2000年の新しい年が始まろうとしている

29日の仕事納めにタウンシ坂井瑞実クリニックで診察を受け、即入院。30日にシャント手術、年末の31日に透析導入となりました。2000年のカウントダウンを病室の個室でテレビを見ながら、これから生涯透析生活が続く不安と、透析導入で急に元気になった有り難さも感じておりました。幸か不幸か入院生活が年末年始でしたので、会社を休む事もなく退院できました。理事長はじめスタッフの方には感謝申し上げます。退院後の透析生活、知り合いが全然ない病院でどうなるのか不安な毎日でしたが、先輩に患者会のある事を教えて頂き、早速入会させて頂きました。

慢性腎不全という大病になりながら、医療費とか何の心配も無く透析を受けられ、働きながら障害年金を頂き、様々な免除があります。すべて腎友会をはじめ患者会先人の努力で今日があると思います。しかし昨今少しずつ医療費の個人負担が増える傾向にあります。この度兵庫県では、「身体障害者医療費助成制度」の見直しが始まされ一部負担金が徴収されています。血液透析が始まって約40年、透析療法はすさまじく飛躍的に進歩し皆が

長生き出来る様になりましたが、患者の高齢化が進み患者会の組織率が減少しています。当クリニックはまだ高い方ですが、新しい患者さん、未加入の患者さん、患者会をよく理解して頂き100%の組織率を目指して加入して欲しいと思います。

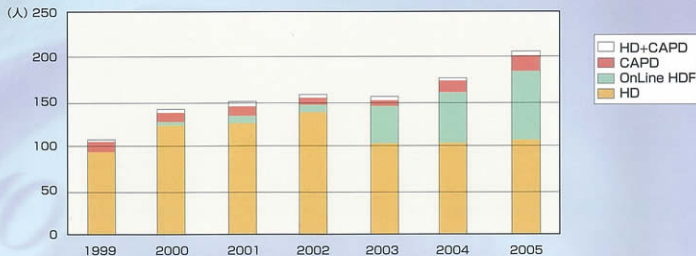
坂井瑞実クリニック友愛会では、勉強会はじめ、バス旅行、クリスマスパーティー等を開催し、坂井理事長、スタッフの皆さんと親睦をはかりながら有意義な透析生活を続けたいと思っています。私は、昨年から会長をやらせて頂いていますが、透析患者を取り巻く状況は残念ながら厳しい状況になっていきます。一人の声は小さくても多勢の声は必ず大きく実ります。患者会では、署名活動等みんなで協力して頑張っていきたいと思っております。

兵庫県腎友会では「一人はみんなのために、みんなは一人のために」という基本理念をもって、患者同志の交流、親睦の促進や医療生活を守り向上させるために活動を続け、医療、福祉を前進させていきます。一人でも多くの皆さんが関心をもって患者会の活動にご協力下さる様、宜しくお願い致します。友愛会で学び、情報交換しながら、恵まれた環境で透析生活を続けられる事に感謝しながら頑張っていきたいと思います。

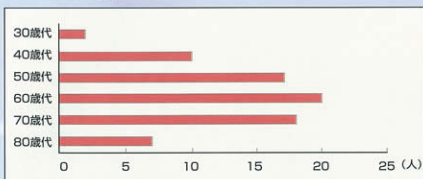
坂井瑞実クリニック患者会「友愛会」入会ご希望の方は、透析の各時間帯に幹事がおりますので、声をかけてください。

腎の透析をふりかえる

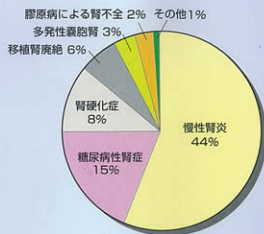
透析患者数の推移



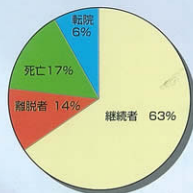
導入年齢



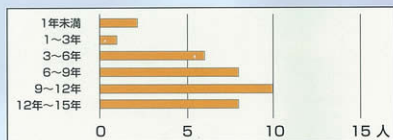
導入患者79名の原疾患



◎CAPD患者(35名)の動向



◎継続期間



◎移植患者数

総数 7名

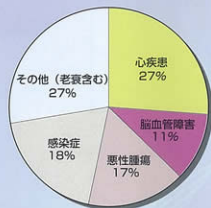
生体腎移植 5名

献腎移植 2名

◎手術件数 H10/10～H17/9

副甲状腺摘出術 (PTX)	311 件数
シャント造設術	185
内視鏡下手根管開放術	48
腱鞘切開術 (パネ指)	38
甲状腺腫瘍摘出術	34
CAPDカテーテル 抜管・留置術	31

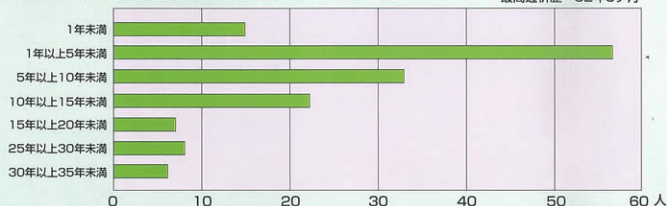
■亡くなられた方83名の死因



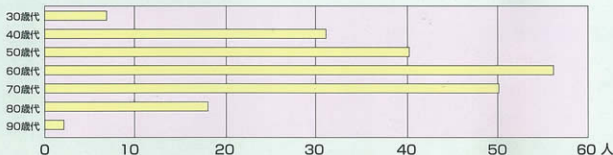
現況

2005年8月現在患者数204名 (男性122名・女性82名)

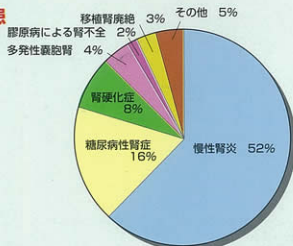
最高透歴歴 32年3ヶ月



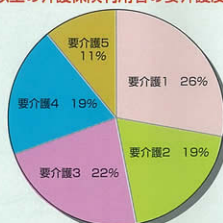
年齢



原疾患



65歳以上の介護保険利用者の要介護度分類



36名 (男性16名、女性20名)

待望の夏旅行に参加して

村井 正利

7月24日1回の旅行へ総勢71名の参加、バス2台チャーターによりゆったり気分で心弾ませ、行って来ました。

今回は幹事諸氏の立案で、名画鑑賞に大塚国際美術館・自然が作った鳴門の渦潮観潮・神戸の史跡見学・瀬戸内海を背景に記念撮影など中身の濃い内容でした。今回の美術館訪問はNHKでイタリア紀行も連続放映されており関心も深く、親しみを感じ現地を訪れているようでグッドタイミングであったと思います。

◆大塚国際美術館

一言で言えば日本に居ながらにして世界の美術館巡りの体験ができた気持ちになりました。説明によると、世界25カ国190の美術館より1074点、原寸大の至宝西洋名画が面積29400.0mに複製展示されているそうです。紀元前から現代までの名画の粋・時代を背景にした画風・色彩の変化・絵を通して様々な歴史を学ぶことができ、名画で見る西洋史を感じました。

紀元前後の絵の色材料は卵の白身・



黄味・色の着いた岩を粉砕し、着色したそうので淡い色でセピア風に描かれていました。

また中世後の絵画は、カラフルで精緻を尽し明暗の描写が写真のようであった。一作一作活力溢れる才能は天性と努力の結晶でしょうか。とにかく全ての絵が優れた大作で再度訪問の余韻を残しました。

余談ながら、何故大塚美術館が陶板を採用したか調べたところ、鳴門の海岸は白砂であり、これを利用してタイルを製造販売していた。しかしS48年石油の高騰でビルの建設が激減したため、陶板に絵を書いて付加価値の高い美術品に移行したそうです。また本物の絵は次第に色の変化があるが、この技法の作品は2000年経っても変化しないと言き素晴らしいアイデアに感動しました。

動しました。



◆鳴門観潮

5年前に出来た新名所 450m橋の海上散歩でスリルを楽しみ、突端45mの高所からの観潮は迫力があります。

た。

◆神戸の史跡

甲南漬本舗史料館見学伊丹専務より説明願ひ、一同に手土産頂き有難うございました。

◆記念写真

淡路サービスエリアで真夏の瀬戸内海を背景に理事長・事務長・スタッフを中心に明るく笑顔で竹内名カメラマンに撮影願ひました。乞うご期待！集合時久しぶりにお会いした患者皆さんの表情が非常に明るく健常者そのものでお互いに坂井瑠実クリニックの通院生を誇りに感じたのは私だけではないでしょう。そして長時間の行程ながら一人の故障者も無く楽しく元気に一日過ごせたことは、日頃からの坂井理事長始め喜田院長・三上事務長・諸先生・スタッフ皆様の心配りのお陰と心より感謝申し上げます。

最後になりましたが、時間をかけて種々企画選考頂いた友愛会中村会長・副会長・幹事皆様のご尽力に厚く御礼申し上げます。お世話になりました。